

助動詞の定着ドリル(場面で選ぶ→対話完成→まちがい診療所→自分の番+解答)

Class _____ No. _____ Name _____

■ 助動詞のきほん 助動詞は動詞に「気持ち・判断」を足す(あとの動詞は原形)。
must=しなければ(強い) / **have to**=しなければ(事情で) / **should**=したほうがいい / **may**=してもよい・かもしれない
 注意: **must not**=してはダメ(禁止)だが **don't have to**=しなくてよい(不要)——否定で意味が分かれる！
 🎯 ゴール: 場面に合う助動詞を意味で選べる → 禁止と不要を区別できる → 学校のルールとアドバイスを3文で言える

1 ウォームアップ 日本語に合う助動詞を記号で選ぼう。

ア must イ should ウ may エ don't have to オ must not	①～しなければならない() ②～したほうがいい() ③～してもよい() ④～しなくてよい() ⑤～してはいけない()
---	--

2 場面で選ぶ 場面に合うほうを○でかこもう。※形はどちらも正しい——意味で選ぶ！

(1) 図書室のルール	You(must not / don't have to)eat here.
(2) 明日は祝日！	We(must not / don't have to)go to school tomorrow!
(3) 顔色の悪い友だちに助言	You(should / may)go home and rest.
(4) 先生に許可をもらう	(May / Must)I open the window?
(5) 大事なテスト前夜	I(must / may)study tonight!
(6) 空模様から推量	Take an umbrella. It(may / should)rain later.

✓ (1)(2)が今日の山場——「食べるの禁止」と「行かなくてよい」。同じ否定でも意味が正反対。場面で決めよう。

3 対話を完成 初めての調理実習前、先生の説明。()に合う助動詞を書こう。

Teacher: Everyone, you(①)wash your hands first. It's a rule.
 Student: Do we(②)to bring our own aprons?
 Teacher: No, you(③)have to. We have aprons here. But you(④)not touch the oven. It's very hot!
 Student:(⑤)I taste the soup?
 Teacher: Sure! But it(⑥)be hot, so be careful.

✓ ①はルール(must)。③は「持ってこなくてよい」。⑤は許可のお願い。⑥は「熱いかもしれない」。

4 まちがい診療所 正しい文には○、まちがいがあれば直して書こう。

(1) You should see this movie.	
(2) He must studies English every day.	
(3) I must to go now.	
(4) You don't have to run in the hallway. (「ろうかを走るの禁止」と言いたい)	
【考える1問】(4)はなぜ場面に合わない？ 日本語で一言:	

✓ (4)は文法的には正しい文。でも「禁止」の場面には合わない——形だけでなく意味の診療。

5 語順ビルド 日本語に合うように、語を並べかえて書こう。(文頭は大文字に)

(1) あなたは今日、宿題を終えなければなりません。 [finish / must / you / your homework / today / .]	
(2) 私たちは制服を洗わなくてもよい。 [wash / don't / we / have to / our uniforms / .]	

6 自分の番「わが家(またはわがクラス)のルールブック」を3文+アドバイス1文！

(1) しなければならないこと(～ must)	
(2) してはいけないこと(～ must not)	
(3) しなくてよいこと(～ don't have to)	
(4) 友だちへのアドバイス(You should ～.)	

✓ 書けたらチェック: 助動詞のあとは原形? (2)と(3)の意味のちがい(禁止/不要)を自分で説明できる?

☆豆ポイント! **must not(禁止)**と **don't have to(不要)**は英語学習の名物ひっかけ。「You must not pay.(払うな)」と「You don't have to pay.(払わなくていいよ)」——お店で聞きまちがえたら大変! 否定文は意味まで確認。

助動詞の定着ドリル(場面で選ぶ→対話完成→まちがい診療所→自分の番+解答)【解答・かんたん解説】

丸つけをしたら、まちがえた問題に✓をつけよう

1 ウォームアップ

① ア ② イ ③ ウ ④ エ ⑤ オ

mayには「してもよい(許可)」と「かもしれない(推量)」の2つの顔がある。

2 場面で選ぶ

(1) must not (2) don't have to (3) should (4) May (5) must (6) may

(1)は禁止、(2)は「行く必要がない」——場面の意味が答えを決める。(6)は推量のmay。

3 対話を完成

① must ② have ③ don't ④ must ⑤ May(Can も可) ⑥ may(might も可)

②③は have to の疑問・否定(Do we have to...? / No, you don't have to.)——mustの疑問・否定はhave toで代用することが多い。

4 まちがい診療所

(1) ○(直すところなし) (2) He must study English every day.(studies→study)

(3) I must go now.(mustのあとにtoは不要) (4) You must not run in the hallway.(禁止の場面なのでmust not)

【考える1問】の例:「don't have toは『しなくてよい』だから、走るのを止められない。禁止したいならmust not」など。

5・6 語順ビルド／自分の番(例)

5(1) You must finish your homework today. (2) We don't have to wash our uniforms.

6の例: (1) I must get up at six. (2) We must not use phones at the table. (3) I don't have to make breakfast. (4) You should read this book.

6は内容自由。助動詞+原形になっていて、(2)(3)の意味が書き分けられていれば正解。

■ まちがいが多かった人へ(学び直しコース)

①豆ポイントの「払うな／払わなくていい」を音読 → ②「2」の(1)(2)を日本語に訳してから選び直す → ③「4」の(4)をペアに説明 → ④ 先生に「6」を見せてチェックをもらう